

横山孝子 代表 51

(聞き手・小堀日出香)

キャンナス鳥山 看護師としての専門知識・技術を使って要介護者や介護する人たちを支援する有償ボランティアグループ「全国訪問ボランティアナースの会(キャンナス)」(本部・神奈川県藤沢市)加盟の県内第1号組織。夜間帯在、通院付き添い、旅行介助など、介護保険制度ではカバーしきれないサービスを那須烏山市、那珂川町をエリアに提供している。スタッフは看護師13人、ボランティア4人。

看護師らによる有償ボランティアグループ「キャンナス」。「ナース(Can)」をナースとナース(Nurse・看護師)という願いから名付けられ、介護保険制度の枠を超えたサービスを提供する取り組みが、那須烏山市で行われている。横山孝子代表(51)にサービスを始めた理由や現状などを聞いた。

■できることから

介護保険制度を超えたサービスとは。

「例えば、要介護者の訪問では、保険で認められている時間には制限があります。でも、利用している人からは、もっと長くいて話相手をしてほしい、病院の夜間も見守ってほしい、病院の付き添いをしてほしいなど多くの要望が寄せられます。介護に救われた家族を休ませることも重要なのに、介護保険制度では力ハシきれないこともありまう。キャンナスの使命はそこにあります。助け合いの精神で、できることからやっていきます」

■団体でも利用可能

利用する場合、どのぐらいの費用がかかるのか。「訪問時間1時間で、訪問者が看護師だと1600円、ヘルパー・保育士の場合1200円、ボランティアでも対応できる内容だと1000円といった感じですが、そのほか、交通費が1回の訪問で原則800円かかります。チケット制で、団体としても使うことができるので、老人会や学童保育などのニーズにも対応できます」



料金はチケット制。団体での利用も可能だ

■訪問看護に関心

「病院で勤務していたが、外出訪問看護に関心を持ったのが、曾祖父も祖父も自宅でした」

介護保険を超えたサービス



事務所で電話対応をする横山代表。「できることを、できることから、できるだけ」がモットー(那須烏山市で)

よこやま・たかこ 1964年、群馬県邑楽町生まれ。85年に前橋赤十字看護専門学校を卒業後、那須南病院(那須烏山市)などで看護師として勤務。2012年5月「訪問看護ステーションあい」を開設。昨年5月に「キャンナス鳥山」を設立した。

チケット制きめ細かく対応

なりました。高齢の患者さんたちが病院で亡くなるのを見て、なぜ家で生計を終えることができないのか疑問に思っていました。7年ほど前にキャンナスの創設者、菅原由美さんの講演を聞き、その後も話を聞くうちに「私が目指していたのは、これだ」と思いました」

■自らステーション設立

「キャンナス開設の前に訪問看護ステーションを作った。有償ボランティア制度のキ

キャンナスだけでは経営が成り立たないと思いましたが、まずは、勤務する病院で訪問看護をやっていたけれど考え、院内で訪問看護部門の設立しようと思いましたが、無理でした。それから、自分でステーションを作ろうということになりました」

「私を含め看護師5人で始めましたが、訪問看護の経験はゼロ。手探り状態でしたが、那須烏山市初の訪問看護ステーションということで注目され、すぐの仕事を、求める手に対して差

し出す手です。有償ボランティアとして、そんな手になりたいと思っている男女を募集しています」

■ケアマネとしても

「介護支援専門員(ケアマネジャー)としても働いている。看護師のケアマネは院内でも少ないと聞いています。医療に強いケアマネとして、病院からの依頼がほとんどです。退院される方の在宅介護のプランを作ってほしいといった内容です。まず介護保険制度でできることでプランを組み、制度で対応できない依頼にはキャンナスで対応します」

■「お取りの家」を

「自宅に家族に看取られながら、長期的な事は、環境が整わないために難しいケースが多くあります。そういう人たちのための「お取りの家」を夢見ています。難病の方を含め在宅でフォローしきれない人たちのための避難所にもなると考えています」



看護士のスタッフたちも合わせる横山代表(左から)

32 冬にヒマワリ開花 最優秀賞
きょうの栃木版から

31 地名の知 指宿
32 おくやみ
32 秋山庄太郎さん写真展

33 少年事件の弁護士早瀬派道
33 震災5年 鎮魂のオブジェ
37 サイバー犯罪防止へ協定